

本学の最新予定とトピックス

文京学院大学では、教員陣の研究成果や、「本郷キャンパス」・「ふじみ野キャンパス」で行われるイベント予定、最新トピックスなど、報道関係者向けにさまざまな情報を発信しています。

			実施場所
1	大学発の熊本地震支援活動 ペット連れ被災者のための避難所となっている動物病院へ支援物資を送付	4月22日(金)より	ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)
2	2年次からの就職活動支援講座「就職塾」 講師との対話形式で楽しみながら就職活動準備を進める	4月22日(金)より	ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)
3	「COOL JAPAN」の現状と今後 経営学部の公野勉教授がコンテンツ産業に関する書籍を刊行	4月28日(木)	—
4	絶滅危惧種であるアジアゾウの現状啓発 幼児と保護者でゾウの“ふん”から名札を作る自然体験教室	5月7日(土)	ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)
5	26年続く伝統の全学行事 学生のあきらめない心を育てる「30km ウォーキング」実施	5月28日(土)	スタート:本郷キャンパス (東京都文京区) ゴール:ふじみ野キャンパス (埼玉県ふじみ野市)

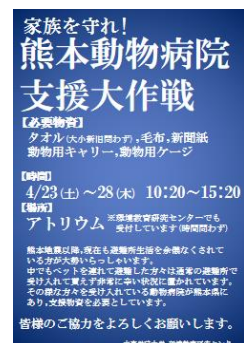
大学発の熊本地震支援活動 ペット連れ被災者のための避難所となっている動物病院へ支援物資を送付

4月22日(金)より

文京学院大学環境教育研究センターは、4月14日(木)より熊本県を中心に発生している地震に関し、ペットを連れた被災者を受け入れる避難所となっており、支援物資を求めている熊本市中央区の竜之介動物病院への支援活動を実施します。竜之介動物病院では、ペット連れでは市内の公共の避難所の屋内に入れないため、犬や猫などのペットを連れた被災者 200名以上が避難しています。

震災においては飼育しきれないペットが野生化し、殺処分の対象となってしまう問題が起こりえます。当センターに所属する学生の中にはペットの殺処分に反対する卒論を書く学生もおり、多くの学生が支援に関心を持っています。そこで、学生が今できることを考え、同病院に連絡を取り、今回の支援実施を決定しました。

支援内容としては、竜之介動物病院が必要物資としているタオルや毛布、新聞紙、ケージ、キャリーバッグについて、ふじみ野キャンパスに設置した受付で学生などから集め、ダンボールに梱包したものを次々と発送しています。4月22日(金)よりポスター展示や学内放送を通じて物資募集を開始しており、4月29日(金)には現地に向けた最終便を発送予定です。本支援活動には、当初本学の学生約50名で始めましたが、学内外で協力者が増加中です。



学内掲示ポスター



キャンパス内での設置ブースの様子

2年次からの就職活動支援講座「就職塾」 講師との対話形式で楽しみながら就職活動準備を進める

4月22日(金)より

文京学院大学ふじみ野キャリアセンターは、人間学部の2年生を対象とする就職活動支援講座「就職塾」を4月22日(金)より展開しています。

3年次からの就職活動をスムーズに進めるには、2年次にしっかりと準備をすることが大切です。本講座は昨年に続き2回目の開催で、“2018年3月1日までに何をすればいいかが判る”を最終ゴールに、企業の新人・若手研修などを手がけた上草憲昭氏を講師として、学生は、対話形式で楽しみながら就職活動対策を進めます。講座は2017年1月までの全20回構成、各回30名を定員として、月別に「新就職協定後に見えてきたこと」「就きたい仕事を考えてみる」「今注目されている会社」「会社を創業してみよう」「自己理解」といった多様なテーマを扱います。

昨年度の受講生からは、「改めて自分とはどういう人間なのかが分かった」「自己分析をして短所と長所が理解できた」「最初は固いイメージだったが、先生の話はとても面白く、聞くのが楽しみだった」といった声が寄せられています。

【4～5月の開催予定】

日時：4月22日(金)、29日(金)、5月13日(金)、20日(金)、27日(金)
各回いずれも13:10～14:40
会場：ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保1196)



当日のイメージ

**2年生対象
“就職塾”参加者募集**

就職塾は非常に面白い講座ではありません。
講師と学生が対話形式で進めます。
学生の就業意向アンケートでは、学生からの質問や相談に対し、講師の先生が職員になって聞いて下さり、とても良いの声を寄せられました。
情報は伊原が既報内指するまで公開していません。
※要項にお申し込みください。

2018年3月1日までに何をすればいいかが判る

- 就職活動後に見えてきたこと
- 社会の今と明日を知る
- 就きたい仕事を考える
- 注目されている会社について
- 会社創業の仕組み
- 自己理解

楽しみながら就職対策ができる。

開催日時：4月22日(金)より
定員：30名
受講料：無料(全20回)

申し込み：4月22日(金)より
申し込み先：キャリアセンター(2F) 049-277-1111

募集チラシ

「COOL JAPAN」の現状と今後 経営学部の公野勉教授がコンテンツ産業に関する書籍を刊行

4月28日(木)

文京学院大学経営学部・経営コミュニケーション学科の公野勉教授は、4月28日(木)、書籍『コンテンツ製造論』を刊行しました。

映画、アニメ、テレビ、ゲーム、出版など、「COOL JAPAN」を築き上げてきたコンテンツ産業は参入障壁が低く、人的・資本的流動性が高いことを特徴としていました。しかし現在、経済状況は酷薄なものとなり、閉塞感が強まっています。そうした事情を踏まえつつ、健全な業界発展のための提言、業界内で生きぬく処方箋について、株式会社カプコン プロデューサー・小林裕幸氏、株式会社講談社 取締役・古川公平氏、東映株式会社 取締役・白倉伸一郎氏など、業界で活躍されている方10名へのインタビューや公野教授の論考を通じ、提示しています。

【出版情報】

書名：『コンテンツ製造論』 著者：公野勉 発行：株式会社風塵社
定価：本体2800円+税 仕様：A5判、441P、ソフトカバー
ISBN:978-4-7763-0065-6 発売日：2016年4月28日(木)



書籍 表紙

絶滅危惧種であるアジアゾウの現状啓発 幼児と保護者でゾウの“ふん”から名札を作る自然体験教室

5月7日(土)

文京学院大学環境教育研究センターは、4歳から6歳までの幼児、およびその保護者を対象とした自然体験教室「もりの教室2016」の第1回を、5月7日(土)に開催します。本イベントは本学が主催し、埼玉県ふじみ野市が後援しています。

「もりの教室2016」は、幼児が五感を使って自然を感じ、遊びを通じて自然とつきあうルールを学ぶことを目的に、5月から10月まで月1回、16組が参加する自然体験教室です。

第1回となる今回は、アジアゾウのふんを使った再生紙“ゾウふんペーパー”で、親子が名札作りを行います。“ゾウふんペーパー”とは、国際自然保護連合により「絶滅危惧種」に指定されるアジアゾウのふんを使って作る再生紙です。存続が危ぶまれる背景にはさまざまな理由がありますが、ゾウが山林の木材伐採時に危険地で酷使されていることも大きな理由となっています。そうして伐採された木材の多くは日本に輸出されており、当センターではこうした状況に対し、“ゾウふんペーパー”を使ったフォトフレームやしおりの制作・配布等により、アジアゾウの現状を啓発する活動を展開しています。

日時：5月7日(土) 10:00～12:00

会場：ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)



原料となるアジアゾウのふん



活動の様子



“ゾウふんペーパー”の一例

26年続く伝統の全学行事 学生をあきらめない心を育てる「30kmウォーキング」実施

5月28日(土)

本学の本郷キャンパス学生自治会とふじみ野キャンパス学生会本部は、5月28日(土)、東京都文京区の本郷キャンパスから埼玉県ふじみ野市のふじみ野キャンパスまでの約30km間を歩く伝統行事「30kmウォーキング」を開催します。

30kmウォーキングは1991年の大学開学から毎年実施している全学行事で、今年で第26回目の開催となります。両キャンパスの交流行事として大切な役割を担っており、あきらめない心を育てること、また長い道のりを仲間と共に歩きることで仲間意識を育てることを目的としています。参加者は全学部・全学年を対象に両キャンパスで募集しており、毎年約150名の学生・教職員が参加します。

日時：5月28日(土) 8:30～18:00(予定)

スタート：本郷キャンパス(東京都文京区向丘1-19-1)

ゴール：ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)



これまでの様子